

議 会 特 集

本号は三月定例町議会における町長の施政方針をはじめ、一般質問の内容と、47年度一般会計予算を中心に、議会特集としました。

環境整備と農業改革

施政方針



沢井作蔵

はじめに しつつある住民要求や地域

昭和四十七年度の町政の要方針を申し述べ、みなそのご理解と協力をお願いいたします。

課ごとの対応できるよう役場行政機構を改革し、行政効率の運営をはつていふ方針です。機構改革と効果が見待たれます。

こうした施設の整備をめぐって、健康管理をすめ

昨年当初予定しました各事業は、みなさんのご協力によりまして、順調に遂行することができました。

ともにこうした住民要求を基に過去の町の進捗状況と現状をふまえながら、将来の正しい展望に立った町の全額補助（無料）制を実施。さらに本年は、老人医療費の無料と同じく、零歳の乳児に対しても、医療費の

昨年後半におこった景気
停滞、不況のもてでのドル
ショックというきびしい社
会状況は、本年もひきつづ
期したいと考えています。

ビジョン（立町計画）を策
定、町民に提示し、みなさ
めることにしました。

乳児の健康保持につと
め、老人医療については、本
年十一月からは年齢をひき

さあとをひき、そうした下で町政を進めるためには、幾多の困難が予想されますが、人間生活優先の政治をすでに昨年度において焼

環境の整備 下げて、七〇歳以上全日を無料とする予定です。

そのほか、広域行政圏の一環策として、常設消防が

たてまえに、町民福祉を基
調に、心を新たにしてい町政
を、めてまいる覚悟です。

対話と

却却の建設が完了し、本年
スタートの予定であり、火
災予防、消火体制の充実が
図られます。

環境整備のいま一つの施

農業改革

協調の町政 策として、湯口内から荒瀬
住民のもつ生活上での悩 部の落までを対象に簡易水道
みや、地域における諸問題 を実施するため、本年から
具体的に解決していくこ 二ヶ年計画で、総額一億一
望まれています。

とが、町政の基本であり、そのために本年は、さらに「町長面会日」を定め、対話の場を広げていくために「町長面会日」を定め、また、幼児教育と健康管

千六百万円（本年分五千七百万円）の予算で、水道布設上事に着手します。

町政の主要課題としてこの現実を踏まえながら抜本的改革をはかるために、近

日中に町の総合農政計画案

田中広住氏の声を吸収して、市政に反映させ、あわせて苦情処理の速やか・解決を根子診療所や葦草児童館の

理の施策として、比立内に千三百万円の子算で大阿仁保育所の建設と、ほかに家のみなさんの協力を得ながら、農業経営の改善に積極的にとりこんでいきたい

また、複雑、かつ多岐化 建設を予定していますが、と考えています。

そのためまず本年は、昨年にひきつづき、減反にあわせて基盤整備事業四十五ヘクタールを実施し、機械導人による農家経営の協同化が可能となるよう、経営近代化の基盤づくりをする方針です。

地造成を行なう予定であり
ます。
このように、本年は、町
の農業の柱である畜産導人
事業の具体化の年でありま
す。
また、当町の豊富な山業
を高度に活用していくため
に、交通網の確保整備を
いたしました。
吉田・小淵線、比立内停
車場線、善原線、露能線、
真木線、病経線ほかの町道
線、路線の舗装のほか、荒瀬川
線の抜却改良と、二千五百
万円もの事業費を計上しま

は小学校四、五年と、中学二年を対象に実施します。更に生涯教育の一環をなす社会教育については、住民一人当たり千四百七十円の予算を計上、各種学級、行事等を通じて生活意識の高揚と相互の理解と融和の精神

この協同経営を促進するため、本年から、集落農場化対策事業として、基盤整備完了地域に対し、稲作機械化共同経営を実施するための補助政策を打ち出し、協同化を積極的にすすめることとしました。

に、集落建設の補助費を計上いたしました。

また、県道らびに国道間係では、打当線の集落ヶ所の舗装と全線の拡中工事、草屋、草屋線の大平地内と伏影地内を再び復旧工事、さらに南水沢の延長工事二千一トールが二ヶ年

を培い、町づくりの総合力としての態勢を築きあげた
いと考えています。

医療の確保

公営企業として独立採算
をたてまえとされる町立病
院については、現在むずか
しい経営状態にあります。

また、減反に伴っての転作については、換金作物を中心に契約栽培などで、経営安定が図られるよう営農指導につとめることにしています。

確信し、それらを総合した
具体的施策を実施していく
考えです。

計画で過疎対策の興業事業
として実施の予定であり、
道一〇五号線は、年内に
待望の貫通をみるにいたつ
ています。

観光開発

昨年の秋、阿仁、河辺、
雄和の三町による広域観光
鷹爪線の開通については

住民の健康保持機関としての使命からしても、将来とも存続していくことが必要であり、今後共経営改善をはかりながら地域の医療機関としての役割りを果たす

畜産の振興
米作の機械化と共同経営が可能となるに従がい、余剰労力を利用しての畜産がなんといいても今後の農業の柱ともなるものです。

開発がスタートしましたが、道路網の開きどに促がって、国立公園の周辺に、八幡平、田沢湖を結ぶ圏内と、北側の点から線への観光ルートの発展が考えられることから、教育設備の充実

四月からは、新任の医師をむかえて二名の専任医師が治療に当っておりますが、現在、歯科医師を紹請中であり、医師充足とあわせ、設備の充実をはかっています。

肉牛の生産地形成をめざして畜産振興のため、さしあたって本年から二ケ年計画で、総額一億円におよぶ畜産振興事業をおしすすめる方針です。

また、十月には再開の兄とおとしといわれる鉾山については、停産間近の地域経営への波及効果を考えるべく、町民体育館と、中小の改

以上、本年度の施政の大綱を述べましたが、こうした基本方針に基づき、総額六億三千八百万円におよぶ

飼育で、一戸当り一〇～十五頭飼育の農家に対する補助政策、また、個人飼育のできない場合には、二～三戸で三〇頭規模の共同飼育農家に対する国、県の大巾

また、教育環境の整備に
阿仁合中学校、伏影小、中
村小の改修をはじめ、教材
機材や備品の購入など、教
材教具の充実をはかるため
道路の整備
に住宅がありま

予算が編成され、その執行に当っては、極力冗費を排して、町民福祉策を重点に投資していく方針です。

な助成など、さらに、こうした仔牛生産と同時に、肥育事業をすゝめるために、三百頭畜舎一棟の建設と草

昨年からの重点的にすゝめて
いる町内道路網の整備は
引きつづき本年も継続事業
あるいは新規事業として実
新は年度計画により、本年
に大巾な予算計上をしまし
た。

児童生徒の机、椅子の更
新は年度計画により、本年

議会の協力により、町の職員と歩調を共にしながら平和で住みよい郷土となるよう邁進することを誓い、私の施政方針といたします。

